

「元宵」と「除夕」



英遠 岡崎

中国人にとって春節(旧正月)は最も重要な祝祭日とされる。多くの人が故郷に帰り家族との時間を過ごす。鉄道はこの時期、

特別輸送態勢となり、数億人もの人々が一齐に移動する光景は「民族大移動」とも称される。

その春節に関して、中国の國務院(政府)が10月下旬に発表した通知が物議を醸している。中国では毎年、春節や国慶節などの長期休暇の日程(振り替え出勤日も含む)は、政府が決めて通知するが、今回はこれまで休みだった「除夕」(おおみそか)が春節の連休から外されていたためだ。

北京市の男子大学院生(24)は「除夕に親族が集まり食卓を囲み、新年を迎えるのが中国の伝統的な年越しだ。あり得ない通知だ」と憤る。SNS(ネット交流サービス)上でも「出稼ぎ労働者は年が明けるとまで帰れないのか」と反発の声が相次ぐ。

その中でも印象的だったのが、中華民国の初代大統領だった袁世凱(えんせいがい)にちなんだ逸話と重ね合わせた投稿だ。中国では古くから旧暦の1月15日にあたる

「元宵節」に「元宵」というもち米で作った団子を食べる風習がある。辛亥革命の後、孫文に代わって大總統の座に就いた袁は、「元宵(ユエンシャオ)」の中国語の発音が「袁消(ユエンシャオ)」(袁を消せという意味)と同じことから、名称を「湯圓(タンユエン)」に改めるよう通知を出したとされる。

そして今回「除夕」が連休から外された理由についても、「夕(シー)」の発音が「習(シー)」と同じことから「除習」(習近平氏を排除しろという意味)を連想させるためではないかというのだ。

国家主席の任期を撤廃し異例の3期目に突入して以降、習氏への「個人崇拜」とも言えるような動きはさらに強まっている。今年3月には香港で映画「くまのプーさん 血と蜂蜜」が直前で公開中止となった。プーさんはネット上で習氏を指す隠語だ。5月には習氏の発言を引用して笑いを取った芸人の所属事務所に2億6000万円もの罰金が科されるなど、ユーモアさえも許さない状況となっている。

今回、政府が「除夕」を春節の連休から外した意図は不明だ。ただこのような臆測が出ることで、今の中国を象徴しているとも言えそうだ。